



詳細は裏表紙のQRコードからご確認いただけます。

三菱食品通信

株主・投資家の皆様へ

2023年度 中間報告 2023年4月1日～2023年9月30日

証券コード 7451

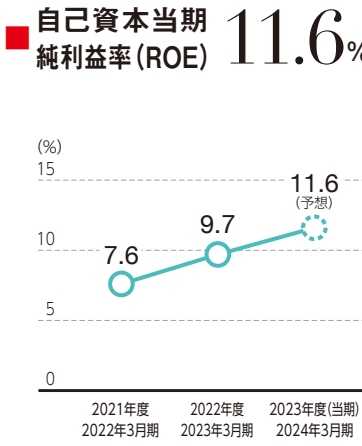
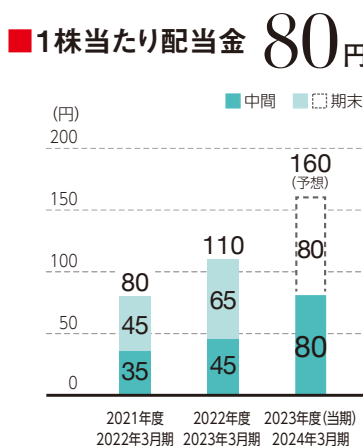
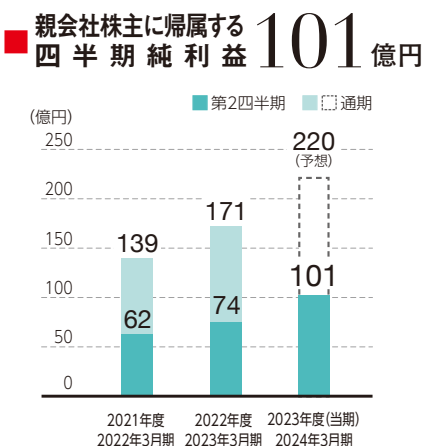
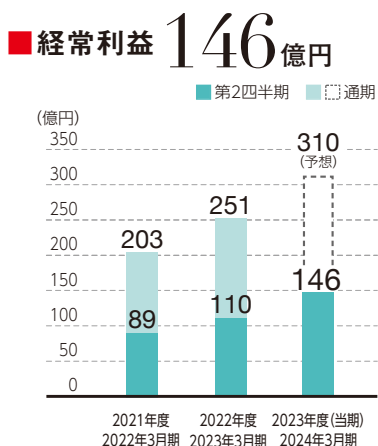
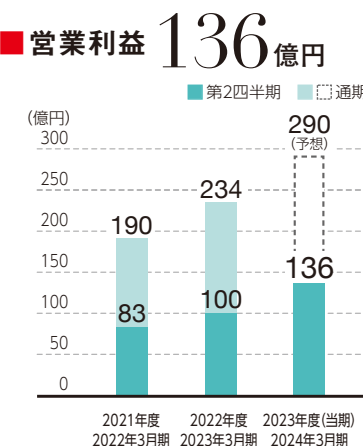
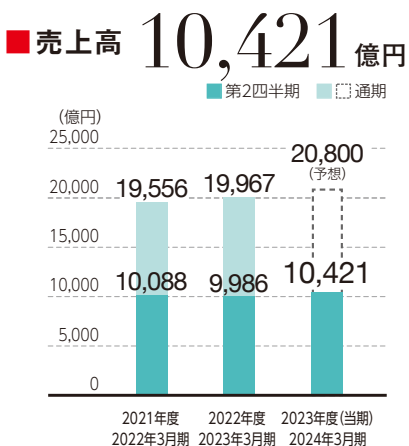
好調な業績を受け、通期業績予想の上方修正を行うとともに、
配当予想の修正（増配）を行いました



代表取締役社長
京谷 裕

Q. 第2四半期の業績総括をお願いします。

A. 当第2四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うインバウンドを含む人流の本格的な回復、及び断続的なコストプッシュ型の食品価格の値上げへの的確な対応に加え、データ×デジタルマーケティング事業への取り組み等、取引先・得意先との「戦略的パートナーシップ強化」と、継続的な「機能向上・効率化の取り組み、採算管理強化による利益率の改善」が奏功し、売上・利益ともに前年同期を大幅に上回る非常に好調な決算となりました。売上高は前年同期比4.4%増加の1兆421億82百万円となり、営業利益は136億69百万円（前年同期比35.9%増加）、経常利益は146億61百万円（前年同期比32.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は101億59百万円（前年同期比



36.3%増加) となりました。この上半期の好調な業績を受け、改めて下半期の計画も見直しを行い、通期経常利益を310億円へと上方修正しました。また、配当予想についても、期初予想の年間130円から30円増配し、年間160円に修正いたしました。前期は年間110円でしたので、50円の増配となります。

Q. 今後の展望について教えてください。

A. 当社は、「持続可能なサプライチェーン構築」に向けて、食品流通・全体収益の安定化・最適化が不可欠であると考えており、今後も外部環境の様々な変化に合わせて、継続的に「サプライチェーンの最適化と整流化」を推進してまいります。特に、国民生活を支える食品・食料の流通は、何があっても持続可能でなければならない、それを守ることが当社の責務であると認識しており、それこそが社会課題の解決にもつながると考えております。期初に掲げた4つの重点事業領域（データ×デジタルマーケティング、トレーディング・海外事業、商品開発、物流事業）についても、この持続可能な食のサプライチェーンの構築に向けて、着実に成長戦略

を進めております。

当社は、2030年の利益目標イメージとして、300億円から350億円規模の収益獲得を目指すとしておりましたが、前述のように経営環境が激変し、収益基盤が一段階引き上がったことを踏まえ、2030年目標を一旦リセットし、新たな目標・指標を掲げるべく、次期経営方針の検討を進めております。次期経営方針では、短期スパンでの積み上げ方式の計画策定をやめ、2030年のありたい姿からチャレンジングな目標を設定し、バックキャストする方式へと変更いたします。「われわれが実現したい未来」を先に描くことで、先行き不透明で変化が激しい時代においても、ビジョン実現に向けて取り組むべきことを機敏に変化させていきます。人口構造の変化を踏まえて、現在の収益レベルを維持し、持続的な安定成長をしていくためには、事業領域の更なる拡大が必須であると考えております。次期経営方針では、目指すありたい姿と事業領域別収益構造ポートフォリオを併せて発表する予定ですので、どうぞご期待ください。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

環境変化を機敏に捉え 着実に成長戦略を進める

当社は「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」をパーパスに掲げ、変化が常態化する社会に適応しながら変革を続けてきました。今後も新たな価値を継続的に創出し成長を続けていくためには、様々な取り組みをより一層加速させていく必要があります。具体的な取り組み事例をご紹介します。

▶ 事業領域ごとの成長戦略

01
データ×デジタルマーケティング

●生活者行動データ・プラットフォーム運営企業(株)unerryと資本業務提携契約を締結(「データ×デジタルマーケティング・プラットフォーム」の共同開発を加速)

02
トレーディング・海外事業

●米国・ベトナムでの事業展開に向けたスタートアップ企業との連携をスタート
●オリジナル商品を中心に輸出金額は前年対比約1.2倍となる見通し

03
商品開発

●日本国内市場におけるリンツブランドチョコレート製品の正規販売代理店として指定を受け、2023年6月1日より全国にて販売を開始

04
物流事業

●車両空きスペースのシェアリングサービス(trucXing)開始や、動態管理システム((株)Hacobu「MOVVO Fleet」)の導入、入荷受付・予約システムの導入拡大
●(株)キューソー流通システムとの合弁会社設立及び業務提携による首都圏エリアの低温物流事業を共同推進(2024年度～)

データ×デジタルマーケティング

▶ 生活者接点を拡大し、より役立つプラットフォームに

2023年8月、当社と(株)unerryは資本業務提携契約を締結しました。当社が保有する小売業様3,000社・メーカー様6,500社との取引を通じて得られる年間約12億件の出荷・生活者調査データ及び購買データと、(株)unerryが保有する生活者行動ビッグデータを掛け合わせたデータ基盤、これに基づいた広告・効果計測サービスをプラットフォームとして共同開発し、データ×デジタルマーケティングにつなげてまいります。



トレーディング・海外事業

▶ 世界の食品市場は拡大。今こそ日本の食文化を海外へ

日本の人口は減少しているものの世界の人口は増え続け、世界全体を見ると食品市場のポテンシャルは今後さらに拡大します。また、政府は、2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円にする目標を掲げました。これらを踏まえ、当社では2つのビジネスに軸足を置き、輸出・海外事業の構築に取り組んでまいります。

- 日系・海外小売業や外食企業と提携した日本商品の輸出版売
米国・中国・ベトナム・タイ・台湾に対し、小売業様向けダイレクト取引やPB商品の開発、輸出拡大等を実行。現地での販促やテストマーケティング、現地ニーズを取り入れた商品開発やブランディングにまで踏み込み、中長期的に取り組むことで継続的な需要の創出を実現してまいります。
- 海外での小売・外食・製造・物流事業への参画
従来の輸出にとどまらず、海外に向けた事業領域の拡大にも踏み出します。現地ニーズに根差し和食にフォーカスしたテーブルメニューの展開や現地製造及び販売、アジア地域を中心にコールドチェーンの構築等に取り組んでまいります。

商品開発

▶ リンツ社製品の正規販売代理店として、下半期の最需要期に向けて拡販中

スイスに拠点を置く、リンツ&シュプルングリー社より、日本国内市場におけるリンツブランドチョコレート製品の正規販売代理店として指定を受け、2023年6月1日から全国での販売を開始しています。

リンツは、高級チョコレートの世界的ブランド。上質なカカオ豆の仕入れからチョコレート製造まで一貫して管理する数少ないブランドの一つで、独自製法により高い品質が保証されています。

下半期はチョコレートの最需要期であり、リンツの魅力を保つ販売を拡大しています。



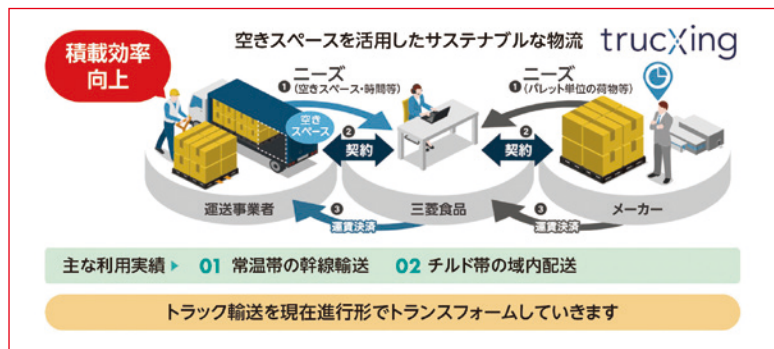
物流事業

▶ トラックの空きスペースを活用し積載率の向上を実現

当社は物流の「2024年問題」への対応として、従来活用が困難とされてきたトラックの空きスペース等を、配送実績データの活用と、運送事業者様との相互協力により有効活用する取り組みを進めてまいりました。

2022年4月、メーカー様の課題解決と新たな価値創造を実現すべく、当社のトラック輸送ネットワークの空きスペース等をシェアリング（主にパレット単位の納品業務を代行）する「余積シェアリングサービス」をスタートしました。2023年9月には、

名称を「trucXing（トラクシング）」に変更するとともに、ウェブサイトを立ち上げて正式なサービスとして展開しています。



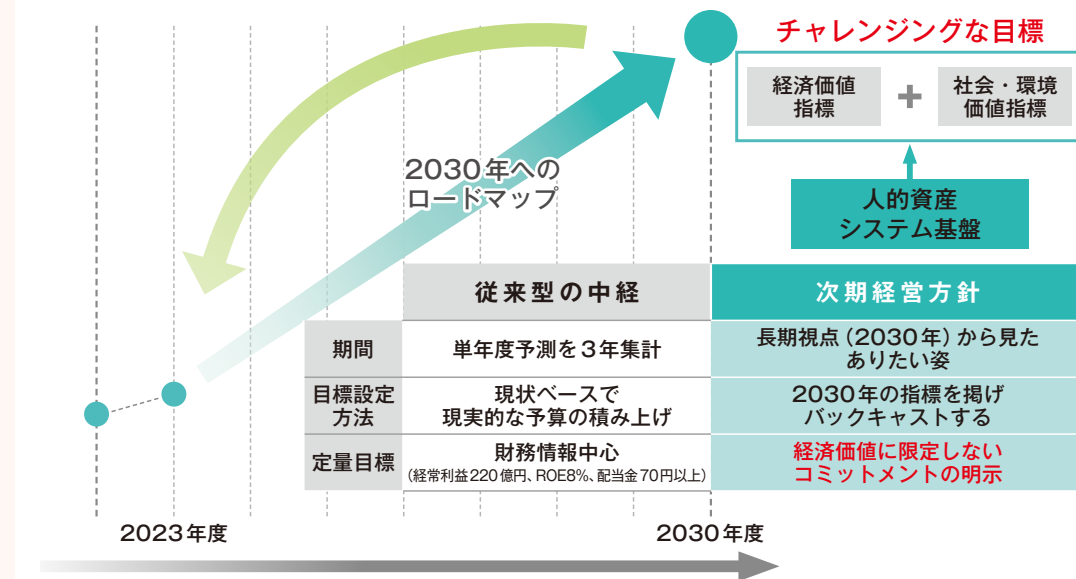
「中期経営計画2023」を経て、当社の収益基盤が一段階引き上がったことを踏まえ、2030年目標の再設定を進めています

2024年5月に発表予定の次期経営方針は、過去の中期経営計画を踏襲することなく、新たな価値の指標や事業モデルの変革を提示する予定です。

具体的には、短期スパンでの緻密な数値を作り込む計画策定方法を廃止し、2030年のありたい姿

からチャレンジングな目標を設定し、バックキャストする方式へと変更します。また、これまで財務情報を中心としてきた定量目標を、経済価値に限定することなく、「われわれが実現したい未来」に則した社会・環境価値指標も併せて明示させていただくべく検討を重ねてまいります。

● 次期経営方針イメージ





「統合報告書 2023」を発行しました

ステークホルダーの皆様へ、当社の企業価値の向上につながる取り組みをご理解いただくことを目指し、「統合報告書 2023」を発行しました。

「中期経営計画 2023」の最終年度となる 2023 年度では、成長戦略をさらに加速すべく取り組みを強化しています。トップメッセージ、CFO メッセージに加えて、当社グループの最大の財産である人財育成の考え方、成長戦略としての具体的な取り組み等を、それぞれの役員より紹介しています。



詳細は、当社ウェブサイトよりダウンロードしてご覧ください。

▶ <https://www.mitsubishi-shokuhin.com/ir/library/annualreport/>

サステナビリティ重点課題への取り組み「Scope3 対応」を新たに掲載

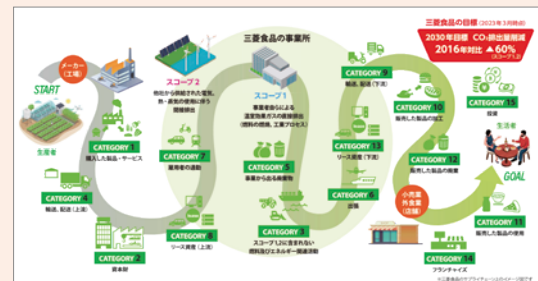
サステナビリティ重点課題のうち環境問題対応については、CO₂ 排出量と食品廃棄量のモニタリングを毎年実施しています。

この度、自社の事業活動に関わる CO₂ 排出量 (Scope1、2) に加え、社会全体のカーボンニュートラルの実現に向けて、サプライチェーン全体の CO₂ 排出量 (Scope3) の測定・可視化を開始しました。測定に対する考え方や測定内容・結果、削減のための措置を、「統合報告書 2023」と当社ウェブサイトに掲載しています。



▶ <https://www.mitsubishi-shokuhin.com/sustainability/esg/environment/scope3/>

●当社サプライチェーン上のイメージ図



「三菱食品ダイヤモンドフェア 2023」に株主様※をご招待

株主の皆様へ三菱食品の事業について一層深くご理解いただく目的で、2023 年 7 月 27 日、当社が主催する取引先向け展示会「三菱食品ダイヤモンドフェア 2023」に、初めてご招待しました。

当日は、「戦略」「機能」「商品」の 3 ブロック及びウェルネス／食エコ等のテーマゾーンで構成した会場をまわり、パネル・映像視聴や試食体験を通じて、当社の事業活動や食品流通の課題、トレンド等をご紹介しました。

ご参加いただきました株主の皆様、猛暑の中ご来場いただき誠にありがとうございました。当社は今後も、株主様と円滑なコミュニケーションを図り、透明性、公平性、継続性に配慮した積極的な情報開示に努めてまいります。



「新時代」パートナー宣言。



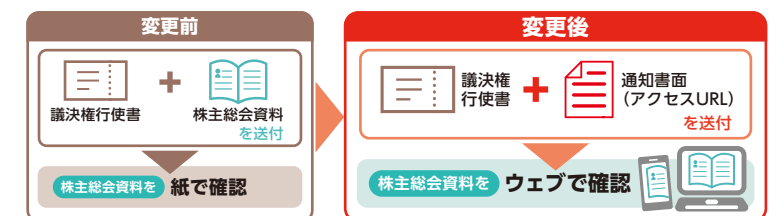
ダイヤモンドフェア 2023
食で創造する、持続可能な社会。

※ 2023 年 3 月末時点で、株式 1 単元 (100 株) 以上を所有されている株主様を対象に抽選を行い、当選した株主様をご招待しました。

当社の株主総会資料は電子提供を行っています

会社法改正により 2023 年 6 月以降の株主総会から、株主総会関連資料の提供は、ウェブサイトを通じて行う方法に変わりました。

なお、議決権行使書と通知書面 (ウェブサイトへのアクセス方法を記載) は、これまで同様に郵送します。これら書類に加え、従来どおりの資料 (株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類等) の送付をお求めの株主様は、「書面交付請求」の手続きをご検討くださいますようお願いします。



「書面交付請求」の手続き

証券会社または当社株主名簿管理人で行っています。詳細については、お取引中の証券会社または、当社株主名簿管理人である三菱 UFJ 信託銀行にご連絡ください。

お問い合わせ先

三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル

☎0120-696-505 (通話料無料)

受付時間 土日祝日等を除く 平日 9:00~17:00

■株式の状況

(2023年9月30日現在)

株式の総数

発行可能株式総数

140,000,000株

発行済株式の総数

43,537,200株

(自己株式726株含む)

一単元の株式の数

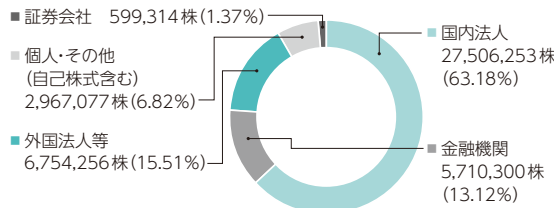
100株

株主数

6,800名

(前期末比1,352名増)

所有者別株式分布



(注)「個人・その他」には自己株式726株を含んでおります。

株主メモ

事業年度

：毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日

：毎年3月31日

中間配当金受領株主
確定日

：毎年9月30日

定時株主総会

：事業年度末日の翌日から
3カ月以内に開催

株主名簿管理人
特別口座口座管理機関

：三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所

：東京証券取引所

公告の方法

：電子公告により行う
公告掲載URL
https://www.mitsubishi-shokuhin.com/
(ただし、電子公告によることができない事故、その
他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新
聞に公告いたします。)

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱商事株式会社	21,816	50.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,302	7.58
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,252	2.87
株式会社ニチレイ	700	1.60
マルハニチロ株式会社	686	1.57
サントリー株式会社	669	1.53
ハウス食品グループ本社株式会社	611	1.40
テーブルマーク株式会社	600	1.37
三菱食品従業員持株会	476	1.09
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	469	1.07

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

お知らせ

●株式事務のお問い合わせについて

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつ
きましては、口座を開設されている証券会社等にお問
い合わせください。
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつ
きましては、左記株主メモに記載の三菱UFJ信託銀行証
券代行部にお問い合わせください。

●配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領
収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛
にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当
金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確
定申告の資料としてご利用ください。
なお、株式数比例配分方式を選択されている株主様の
配当金のお振込先等につきましては、口座を開設され
ている証券会社等にお問い合わせください。

●未受領の配当金について

左記株主メモに記載の三菱UFJ信託銀行証券代行部
にお問い合わせください。

■会社の概要

(2023年9月30日現在)

商号

三菱食品株式会社

本社

東京都文京区小石川一丁目1番1号

資本金

10,630,291,250円

従業員数

連結4,944名、単体4,080名
※2023年3月31日現在の就業人員数を記載しています。

事業内容

国内外の加工食品、低温食品、酒類及び菓子
の卸売を主な事業内容とし、さらに物流事業
及びその他サービス等の事業活動を展開

主要な事業所



当社の情報はウェブサイトでもご覧になれます。
<https://www.mitsubishi-shokuhin.com/>



■役員(取締役・監査役)

(2023年9月30日現在)

代表取締役

京谷 裕

取締役

榎本 孝一

取締役

田村 幸士

取締役

細田 博英

取締役

川本 洋史

取締役

加藤 亘

取締役

柿崎 環

取締役

吉川 雅博

取締役

國政 貴美子

監査役(常勤)

山川 幸樹

監査役(常勤)

海上 英治

監査役

小島 吉晴

監査役

吉川 栄二

(注1) 取締役 柿崎環氏、吉川雅博氏、國政貴美子氏は社外取締役であります。
(注2) 監査役 海上英治氏、小島吉晴氏は社外監査役であります。

マイナンバー制度に関する手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関
係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、
お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく
必要があります。

●株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナ
ンバーを記載し、税務署へ提出します。

●マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711



からだシフト
Instagram

健康ブランド「食べるをかえる からだシフト」

糖質・たんぱく質・腸活の3シリーズで展開！

おいしさ・バラエティ感・簡便性・継続性を主軸に、「心もからだもよるこぶバランスの
良い食生活のサポート」をブランドコンセプトに展開する「からだシフト」。2017年の
発売以来、本格的なおいしさで人気を博しています。

緩やかな糖質制限で無理なく続けられる「糖質コントロール」シリーズや、おいしく
バランス良くたんぱく質を摂取できる「PROTEIN PLUS」シリーズ、食物繊維でからだを、
はびねす乳酸菌®でこころをサポートする「Happiness腸活」シリーズを展開。冷凍食品や
ご飯、惣菜、飲料、菓子、調味料等、カテゴリーや温度帯の枠を超えたバラエティ豊かな
商品を取り揃えています。 ※はびねす乳酸菌®は森永乳業（株）の登録商標です。

糖質コントロールシリーズ フライパンで簡単に！ 「チキンのミネストローネグラタン」

今回ご紹介するのは、「糖質コントロール ミネストローネ」を使った
「チキンのミネストローネグラタン」です。

トマト、玉ねぎ、ニンジン、ズッキーニ、ゴボウ等の野菜をたっぷり
使用した「糖質コントロール ミネストローネ」は、1食 (150g)
当たりの糖質量がわずか4.8gと健康的。たんぱく質が豊富
な大豆がたっぷり入っているのも魅力です。

下準備を済ませた鶏肉とシメジ、ジャガイモに本品を加え
てフライパンで煮立たせます。これを耐熱容器に入れミックス
チーズをのせてオーブントースターで加熱するだけで、野菜
の旨味が凝縮されたミネストローネグラタンの完成です。
寒い季節にぴったりの、からだが温まる一品です。

表紙「チキンのミネストローネグラタン」



たっぷり野菜と完熟トマトの
ミネストローネ

レシピは
こちらから▼



からだシフト
ブランドサイト

全国の量販店、
ドラッグストアで販売。
ECサイトからの
購入も可能です。